

行政自治会だより

第2号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 松本守雄

古河市地域防災訓練実施



みんなで協力、バケツリレー（建物消火訓練）

皆さん真剣です
（応急訓練）



「7月31日（日）午前8時00分、茨城県南部を震源とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生しました。古河市は震度6強で、市内各所において建物倒壊、火災の発生、道路の損壊などの被害が発生。市は、被災市民の救助にあたるとともに関係機関と協力して応急対策を行うため現地対策本部を設置しました」との想定のもと、市立八俣小学校校庭及び体育館において、古河市地域防災訓練が行われました。この訓練は、市地域防災計画の定めるところにより、市及び防災関係機関等災害予防責任者が地域住民と協力して、大規模災害発生時における防災活動の円滑化を図るとともに、協力体制を強化し、地域住民の防災知識と防災意識の高揚を図ることを目的として行われたものです。

今年は、3月11日の東日本大震災の影響もあり、防災に対し関心が高まっている中で行われたこともあって、訓練にも真剣さが感じられました。

バケツを皆でリレーして消火する建物消火訓練では、バケツをリレーしないで、一人ひとりが単独で

水を汲み消火をした場合と、一列に並びバケツをリレーして消火した場合とでは、リレーをして消火した方が、断然早く消える結果となりました。

また、応急訓練でも、回りに声をかけ救急車を呼ぶ人、AEDを持ってきてもらう人と、一人で行うのではなく、みんなで協力して対処することが、より効果的な人命救助につながることを学びました。

どの訓練も、皆が協力して行うことが不可欠であり、協力し合うことによって、被害を最小限にすることができるとをあらためて認識することのできた訓練となりました。

（広報委員 菅原和美）

目次

- P 1 古河市地域防災訓練実施
- P 2 行政自治会親善バレーボール大会
地区長・副地区長会議報告
マイステージコーナー開催
- P 3 地区紹介（第1地区）
- P 4 市内歴史散歩「思案橋」

行政自治会親善バレーボール大会

「東日本大震災復興支援事業」第2回古河市行政自治会親善バレーボール大会が、8月28日(日)古河市立体育館他市内各高校・中学校体育館で開催されました。チーム編成も各自治会・行政区の実情に応じた編成が選択できるよう工夫されており、応援の方も含め参加者全員が楽しみ、親善と交流を深めました。

なお、成績は次のとおりです。

9人制男子の部(参加19チーム)

- Aブロック 優秀賞 女沼行政区
- Bブロック 優秀賞 八幡町行政区
- Cブロック 優秀賞 上大野行政区

9人制女子の部(参加20チーム)

- Aブロック 優秀賞 上大野行政区B
- Bブロック 優秀賞 小堤行政区
- Cブロック 優秀賞 東牛谷行政区

9人制男女混合の部(参加10チーム)

- Aブロック 優秀賞 平和台自治会

4人制ソフトバレーフリーの部(参加27チーム)

Aブロック 優秀賞 諸川上町・中央町A

Bブロック 優秀賞 東泉町行政区

Cブロック 優秀賞 常盤台自治会B

Dブロック 優秀賞 諸川東松原行政区

4人制ソフトバレーシルバーの部(参加16チーム)

Aブロック 優秀賞 上大野行政区

Bブロック 優秀賞 北新町行政区

(広報委員 荻谷武士)



熱戦が繰り広げられました

地区長・副地区長会議報告

7月26日に第2回、9月21日に第3回の地区長・副地区長会議が総和庁舎で開催され、自治会連合会や区長会で行ってきた事業の取り扱い等について協議を行いました。主な協議内容について次のとおり報告いたします。

- 旧自治会連合会で行っていた環境衛生事業について、担当者を設けるかは各地区、自治会、行政区に任せ組織化はしない。視察研修は、今後の自治会長・行政区長視察研修の中で、環境衛生をテーマとした研修を行うことで対応する。
- 市主催の市民総ぐるみ清掃は年2回とし、それ以外の清掃については各地区、自治会、行政区に任せる。
- 旧総和区長会で行っていた関東ド・マンナカ祭

りマイステージコーナーについては、第8～第14地区の事業として実施する。

- 今年度の行政自治会視察研修は10月28日～29日に新潟県小千谷市とし、新潟中越地震の体験について、当時の町内会長による講演会を内容として開催する。
- 自治会長・行政区長の負担軽減と行政自治会の健全で円滑な運営を目指すため、申し合わせ事項を設ける。
- 地区ごとの緊急連絡網を整備する。
- 翌年度の地区長選出については、自治会長・行政区長に対し3月中に新規の代表者の選考をお願いする。

(広報委員 第15地区長 那須和弥)



沢山のご来場ありがとうございました

古河関東ド・マンナカ祭り マイステージコーナー開催

10月8日、9日実施された「古河関東ド・マンナカ祭り」において、第8地区から第14地区の合同事業として、「マイステージコーナー」を開催したところ、歌や踊りなど95組が出場いたしました。今年は震災の影響で、中央公民館での開催となりましたが、例年にも増して熱気あふれるステージとなり、大盛況となりました。

地区紹介（第1地区） 第1回

こんにちは、行政自治会第1地区です。私達は、新生「古河市」として推進してきた自治組織再編によって、平成20年4月に誕生しました。古河市の西端、旧日光街道即ち一丁目二丁目通りから渡良瀬川の間、古河第一小学校区の区域内に所在する36自治会、2753世帯の会員で構成されています。

地区内には、古河歴史博物館、鷹見泉石記念館、古河文学館、街角美術館及び篆刻美術館等文化施設や、新年に元朝詣りで賑わう雀神社及び長谷観音等数多くの施設、社寺等があります。

また、私達が別組織で運営するコミュニティセンター出城は、市民が自由に利用できるふれあいの場として親しまれています。更に、建設中の地域交流センターは、明年4月の開館が待たれる一方、出城境界整備事業として進められている「お休み処坂長」の改修開設も交流の場として期待されています。

このように、豊富な環境の下に誕生した私達でしたが、新体制への移行に手間取り、まごまごしてありました。構成する自治会の平均世帯数が約80世帯で、極めて小さい集団であることから、活動もままなりません。一昨年などは、地区敬老会を計画し28自治会707名の賛同を得ながら、最終的には各自治会での実施となりました。

この苦い経験を生かして、今年度は、3月24日、地区自治会長会議を開いて第1地区運営協議会を立ち上げました。地区長、副地区長、理事6名、会計2名、監事2名の陣容です。更に、班制を敷き全体を6班に分けました。各班5自治会から7自治会で編成、地区活動の原动力的役割を果たします。班には世話人を置き、理事に選任される仕組みです。

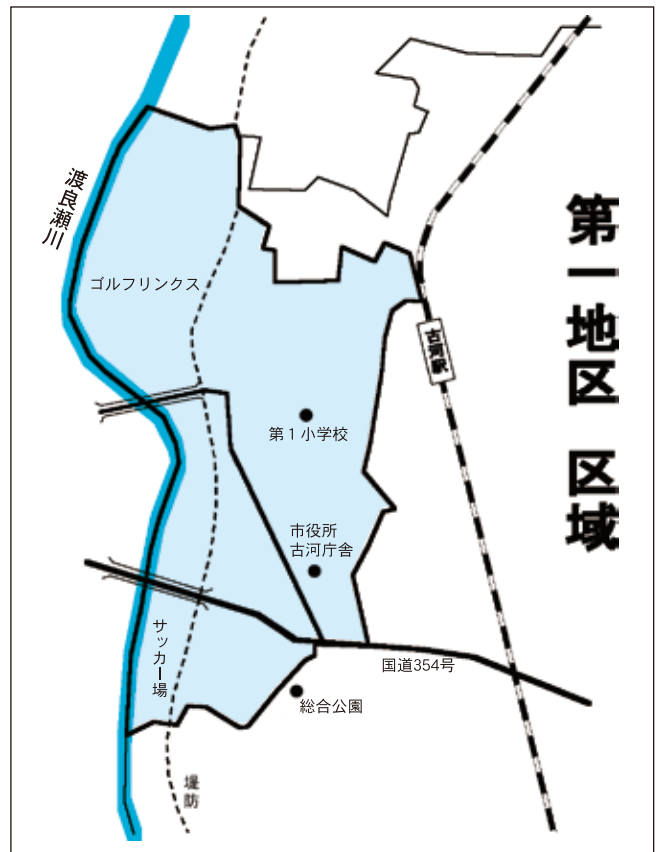
こうして、私達の本体「古河市行政自治会第1地区運営協議会」が発足しました。

早速、5月27日に役員会を開き地区防災訓練実施に関する骨子を決めました。3月11日の東日本大震災に影響されたことは間違いありません。普段、頭に描いていた備えも、突発事態の中では思ったほど役に立たないとされることから、いざという時にまごつかず冷静に行動できるよう防災に対する意識、感覚を高めることが目的であります。地区防災訓練実施要綱を定め実行委員会を結成しました。更に自治会標識旗、即ちのぼり旗を整備して避難誘導態勢を整え、火元確認、初期消火及び応急救護訓練を重点的に実施することで、8月11日、全自治会長で構成する全員協議会の合意が得られました。初期消

火訓練では、私達が家庭に備え付けてある消火器を持ち寄り訓練に使用します。実行委員会、関係機関との協議、打ち合わせを重ねた結果、10月23日、午前8時30分に災害発生時刻を想定し、訓練会場の古河第一小学校に4つの避難所（五小、一小、ゴルフ場、古河庁舎）を仮設し、一斉に集結して訓練を行うことになりました。

当日は、消防団や消防署も含め200名を超える参加者のもと、効果的な防災訓練を実施することができたことを報告し、第1地区の地区紹介といたします。

（広報委員 第1地区長 岩持文彦）



行政自治会第1地区構成図

（班区分）		（構成員・36自治会）	
理事 第1班・世話人	一丁目牡丹会、二丁目、三丁目、四丁目、横山町、天神町、グリーンパーク第一	地区長	副地区長
理事 第2班・世話人	石町、紺屋町、大工町、三神町、東鷹匠町、西鷹匠町、江戸町	監事 2名	会計 2名
理事 第3班・世話人	田町、東杉並町、西杉並町、四丁町、東代官町、西代官町		事務局 (未設置)
理事 第4班・世話人	白壁町、仲之町、厩町、東片町、西片町		
理事 第5班・世話人	観音寺、桜町、小砂町、弥生、西の台、牧野地		
理事 第6班・世話人	台町、長谷町、南長谷、長谷本町、東長谷		

市内歴史散歩（第1回）

～ 静御前ゆかりの地「思案橋」（下辺見） ～

下辺見地先（総和地区）を流れる向堀川に架かる橋には、静御前に関する次のような言い伝えが残されています。

静御前とは、今を遡ること820年前の平安時代末期、源平合戦のヒーローとして知られる源義経と固い絆で結ばれ、乱世に彩りを添えた美貌の女性として知られる「静御前」のことです。

義経は平家を滅ぼした後、兄である頼朝との確執により追われる身となります。

静御前は義経に従いましたが、追跡は厳しく吉野山に分け入ることとなります。当時、吉野山は女人禁制であり同行することが叶いませんでした。

一行と別れた静御前は京都へ戻る途中で捕らえられ鎌倉へ送られます。

そこでは、義経の行く先について厳しい尋問を受けることとなりますが、頑として屈しなかったそうです。

鎌倉より放免され一旦は京都に戻りますが、義経を慕う心は断ち切れず文治5年（1189年）1月に義経の隠れ住む奥州平泉を目指す旅に出発します。

厳しい警護や関所を潜り抜け、苦勞の末に下総国下辺見の地まで辿りつきますが、ここで旅人の一人から奥州高館にて義経が討ち死にしたことを伝え聞きます。心に大きな痛手を負ったことは言うまでもありません。

奥州へ行って義経を弔うべきか、それとも京都に

戻るか、静御前はこの小川に架かる橋の上で長い間思案に暮れていたそうです。

このことが後に、この橋を「思案橋」と名付けた云われと伝えられています。

現在は、向堀川の拡幅や国道354号線の道路改修に伴い鉄筋コンクリートの大きな橋になっており、当時を偲ぶことは出来ませんが平成19年4月にこの橋の北側に静御前の銅像が建立され小さいながら緑の憩いの場となっています。

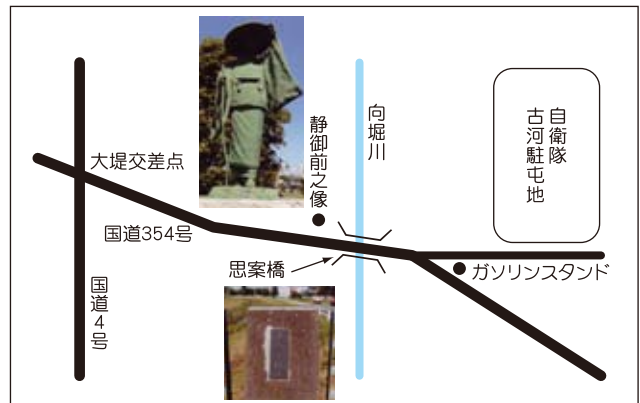
銅像に近寄ると、物静かなメロディが流れてきます。義経への慕情が相まった詩に聞き入ると、静御前の心の一片が垣間見えたような気がしました。

古河市内には、この伝説を裏付けるように光了寺（中田町）に伝わる遺品や釈水土地改良区事務所敷地内（前林）にある静御前が植えたと言われる「静の椿」や「結びの柳」、お隣の栗橋駅前には静御前の墓石等が残されています。皆様も一度立ち寄って遠い昔を偲んでみてはいかがでしょうか。

（広報委員 山室敏夫）



思案橋のたもとにたたずむ「静御前之像」



行政自治会関係 行事予定表

※日程が確定しているもののみ

11月	20日（日）	市民総ぐるみ清掃 ※自治会・行政区によっては、別日程で行うことがあります
-----	--------	-----------------------------------------

編集後記

「行政自治会」って何だろう？創刊号で、合併して新しく発足した「行政自治会」の組織をご理解いただくため特集いたしました。2号紙からは新しくシリーズ記事として各地区の「地区紹介」（今回は第1地区）「市内歴史散歩」（今回は思案橋）がスタートしました。

これからも、より充実したニュースを連載したいと思いますので、皆様からのご意見ご投稿をお待ちしております。

（広報委員長 伊藤利彦）

行政自治会広報委員会

委員長

伊藤利彦

委員

岩持文彦

青木英雄

那須和弥

坂巻富士夫

山室敏夫

菅原和美

大高滋
荻谷武士
幸田操